

## 令和6年度八王子市市民活動支援センター事業計画

### 八王子市市民活動支援センター

#### ■八王子市市民活動支援センター令和6年度事業基本方針

八王子市市民活動支援センターは、市民活動の中間支援組織として、地域で活動する団体や市民をサポートすることで、地域の活性化と市民の生きがいや充実度の向上を図り「豊かで幸せな地域社会実現のための協働のまちづくり」に貢献することを役割としています。

これまでもさまざまな手法を用いて、市民活動団体の基盤強化や信頼性、継続性をサポートする事業を行い、また、市民や団体への啓発的な事業を行ってきました。

令和元年度の終わり頃から始まった未曾有の新型コロナウイルス感染拡大により、国民全体が生活様式の変更を強いられ、市民活動団体にとってもその活動に大きな影響が出ましたが、令和2年度からの3年間は活動に制限があるなか、市民活動支援センターとしては、コロナ禍に対応した手法を試行し、団体や市民のコロナ禍の活動支援に貢献する事業を行ってきました。令和5年5月より新型コロナウイルス感染症が第5類へと移行することで、徐々に私たちの行動も元に戻りつつあります。コロナ禍だった時期で得た新たな手法(オンラインの活用等)は継続しながら、今年度はコロナ禍以前に戻りつつある団体の活動を更に後押しし、交流と連携に重点を置き、コロナ後の市民活動の新たな価値創造にもつながる市民活動支援事業を計画します。

当支援センターのビジョン「私たち一人ひとりがつながって、夢をカタチにできる八王子」を掲げ、多様な市民や団体との連携と協働により、引続き自立した市民力、地域力向上の実現に向け、市民あるいは市民団体が公益的あるいは社会貢献的な活動に参画する豊かな市民社会の構築をめざしていきます。

#### 1. 市民活動の促進のための施設の提供に関する事業

##### (1) 初めて訪れる人にもわかりやすく使いやすい空間づくり

- ・センターへ入りやすい、わかり易い表示にする  
(1階エレベーター前案内スタンド、5階入口のスタンドの表示)
- ・オープンスペース(フリースペース)の明るい雰囲気づくり(ディスプレイの工夫、空間の改善)

##### (2) 市民団体を支援する環境づくり(空間づくり)

- ・団体の会報コーナー、助成金コーナーの充実
- ・団体情報掲示板の充実
- ・貸し出しPC、機材の充実(オンライン会議対応の充実)
- ・情報資料・図書コーナーの充実と適切な管理
- ・団体用貸し出しロッカーの運用

##### (3) 施設的环境と危機管理

- ・清掃、照明、空調などの利用環境の適正管理に努める。
- ・環境に配慮した施設管理を心がける。
- ・多数の市民や団体の方々に利用頂いていることから、ビル管理会社と連携し、消防法に定められた自

衛消防訓練への参加や防火上必要な教育研修等への参加及び緊連絡網の整備により、危機管理能力を高め施設利用者の安全安心の確保に努める。

## 2. 市民活動を行う者、市民、事業者、市及び地域の相互の連携並びに交流の促進に関する事業 (地域・団体連携交流事業)

### (1)はちおうじNPOフェスティバル2024

開催日:10月6日(日) 10:30~16:00

会場:東京たま未来メッセ 展示場 A~D、えきまえテラス(全面)

内容:ステージパフォーマンス、展示、物販、フードエリア、ワークショップなど

- ・このイベントでは、さまざまな団体が参加し、市民への市民活動の理解や紹介の場となるように、また交流の場となるように計画する。
- ・今年度は東京たま未来メッセ(東京都立多摩産業交流センター)に加えて、昨年11月にオープンした「えきまえテラス」との2会場で開催する。
- ・その名称のとおり、「市民活動のお祭り」ということで、昨年以上に解放感があり楽しく市民活動・NPOを発信するイベントを目指す。
- ・多世代が参加しやすいように、参加型ワークショップやパフォーマンスを増やす。(学生や子どもが参加しやすいようなワークショップなど)
- ・昨年度よりもスペースが拡大するため、当日のみならず準備段階から参画してくれるサポートメンバーを広く募集する。

### (2)NPO八王子会議

開催 2月 会場 未定 定員50名~60名

市内のNPO団体や企業、行政、大学等多様なステークホルダーが参加し、社会課題の解決に必要なこと、これからの市民活動のありかた等について考える場とする。今年度は昨年度のテーマ「NPO と多様な主体との共創~みんなで担うまちづくり~」を進展させて、「連携・協力・共創」をどう作り上げていくか、についてより具体的に話し合い、連携団体のマッチングまでを目指したい。

### (3)地域・団体交流会

開催 2回/年 各30名~40名 場所:市内公共施設

この交流会は、団体同士の横の連携だけでなく、企業や行政や公共的性質を持った組織など多様なステークホルダーに呼びかけ、課題解決にむけて意見交換する場として開催する。

今年度はこれまでの開催成果を基礎として、より具体的に実現できるよう深掘するような話し合いの場となることを目指す。

| 事業  | 交流会   | 回数 | 2回/年 |
|-----|---|----|------|
| 第1回 | 7月7日(日)開催予定<br>会場:学園都市センター第1セミナー室<br>テーマ:「子どもの居場所をつくる」<br>子どもを取り巻く環境が複雑化するなか、子どもが安心して過ごせる居場所が必要です。<br>「子どもの居場所」について考え、過去2回の子育てをテーマにした交流会の意見を深め、<br>「子どもの居場所づくり」のための具体的な方策や、実現のための連携まで目指す。 |    |      |

|     |  |
|-----|--|
| 第2回 | <p>1月開催予定<br/>会場:近隣公共施設<br/>テーマ:「みんなが参加する地域づくり」</p> <p>誰もが心豊かに暮らし続けられるように、多様性を受け入れ、みんなで参加できる地域づくりについて話し合い、実現に向けた具体的方策について意見交換できる交流会を開催する。令和5年度2月に同様のテーマで開催した交流会の議論を一層進め、実現のための連携まで目指す。</p> |
|-----|--|

#### (4)出張支援センター(地域別交流会含む)

市民活動のより一層の広がりを目的として、中央地区以外での出張センターを開設します。これにより市内のさまざまな場所で活動する団体へセンターを周知し、市民活動の掘り起こしを行います。

また、当日来場した地域の団体どうしの交流会的な機能も果たす。

| 事業  | センター1日出張                          | 回数 | 4回/年 |
|-----|-----------------------------------|----|------|
| 第1回 | 5月9日 西部地域 団体対応・はちコミねっと・ファンド・交流の場等 |    |      |
| 第2回 | 9月 北部地域 団体対応・はちコミねっと・ファンド・交流の場等   |    |      |
| 第3回 | 11月 西南部地域 団体対応・はちコミねっと・ファンド・交流の場等 |    |      |
| 第4回 | 3月 東部地域 団体対応・はちコミねっと・ファンド・交流の場等   |    |      |

### 3. 市民活動に係る情報の収集及び提供に関する事業

今年度も市民活動の情報センターとして、団体向けや市民向けのさまざまな情報を収集し、紙媒体やオンライン媒体を使って発信する。

#### (1)広報紙「SUPPORT802」

- ・限られた紙面を出来るだけ有効に活かし、「市民活動」の情報提供の媒体紙として多くの市民団体のイベント情報などを取り上げ、市民が積極的に市民活動に関われる情報提供を行う。
- ・二次元コードなどを有効に活用し、オンラインとの連動を図る。
- ・広報紙の受け取り方を郵送 or Web の選択ができるようにすることで、紙の発行部数を減らす。
- ・年6回奇数月の発行、毎回 3,500 部(120号～125号)(前年度 5000部)

| 回数 | 発行号数  | 発行予定日 | 配布先  |
|----|-------|-------|--|
| ①  | 第120号 | 5月1日  | 八王子市各所管、公共施設、支援センター登録団体、協議会会員、紙面掲載団体、八王子市内郵便局(11局)、八王子市内イトーヨーカドー(二か所)、東京ボランティアセンター(他市中間支援団体)、八王子市商工会議所、八王子まち・なか休憩所、ワーカーズコープ(千歳や)、多摩信用金庫(八王子支店)、八王子町会自治会連合会、ミニコミ紙、市内大学(7大学)、各種イベント、窓口配布、その他 |
| ②  | 第121号 | 7月1日  |  |
| ③  | 第122号 | 9月1日  |  |
| ④  | 第123号 | 11月1日 |  |
| ⑤  | 第124号 | 1月1日  |  |
| ⑥  | 第125号 | 3月1日  |  |

## (2) メールマガジンの配信

Eメールを利用して「SUPPORT802 便り」として、支援センターの館内情報や講座、イベントの開催案内、助成金情報、市民活動団体のイベント情報などを、メールマガジンの配布希望者などへ毎月配信するほか、支援センターFacebookにもその都度、UPしていく。(配信予定数)773件(令和5年3月現在)

## (3) 支援センターホームページの改善・維持

- ・今年度は、Webから会議室を予約できるシステムを導入する。  
登録団体へ使い方の周知を徹底させる。
- ・NPO法人や市民活動団体の様々な要望に対応すべく、適切な情報をわかりやすく発信するホームページの提供を心がけ、ページの構成など随時改良を図る。

## (4) SNS等の活用

SNSを活用した情報発信を行うことで、ホームページや「はちコミねっと」と連動し、センターのさまざまな取組みを効果的にアピールする。

## (5) YouTubeを使った支援センター放送番組(適時)「とびだせ!市民活動」

オンラインをつかった市民活動紹介番組を適時配信して、市民活動、活動団体の紹介などを行う。団体代表やメンバーへのインタビューをトーク番組形式で行う。その他、センターのイベント紹介などを告知する等、話題があるとき適時制作、放送する。

## (6) 団体登録

- 1) 新規団体登録を促す。
- 2) 「社会的に指摘されている問題を抱えている団体」であるか否かの判断を「宣誓」によって自己申告してもらいが、フォームで回答できるようにするなど、団体に負担をかけない方法で行う。
  - ・未提出団体へは郵送で依頼する。
  - ・未提出団体は登録の状態にないため「はちコミねっと」上で非公開とし、会議室の予約も不可とする。  
提出次第登録の状態に戻す。
- 3) 団体情報の更新
  - ・宣誓時に団体情報が最新であるか確認してもらう。
  - ・広報紙の受け取り方(郵送 or Web)の選択も宣誓時に追加

## (7) はちコミねっと

- ・はちコミねっとの活用促進
  - 定期的な講習会、個別対応を継続
  - 基本講習会 月1回
  - ワンポイント講座、個別相談会を適時開催
- ・はちコミねっとの周知 チラシ新バージョンを作成

## (8) ファイルサーバーの更新(NASの新規購入)

## (9) サイボウズ office のカスタムアプリを利用した業務のDX化

## 4. 市民活動に係る啓発及び人材育成に関する事業

### (1) パワーアップ講座

市民活動団体の運営スキルを向上させることを目的に、月1回ペースのシリーズ講座

| No. | 開催日                 | テーマ / サブテーマ  | 講師                       | 定員<br>15 団体 |
|-----|---------------------|--|--------------------------|-------------|
| 1   | 8 月<br>23 日<br>(金)  | 市民活動団体の立ち上げ(設立)に大切な事<br>市民活動団体の継続のために大切な事<br>市民活動団体の終了のために大切な事 | 東京ボランティア・市民活動センタースタッフ    |             |
| 2   | 9 月<br>20 日<br>(金)  | 団体内のコミュニケーションの取り方<br>会議の作り方<br>仲間の作り方                          | 東京ボランティア・市民活動センタースタッフ    |             |
| 3   | 10 月<br>18 日<br>(金) | 市民活動団体の広報戦略<br>ブランディングの方法<br>効果的な発信                            | 未定                       |             |
| 4   | 11 月<br>14 日<br>(木) | 団体の資金づくり<br>・クラウドファンディングを成功させるコツ<br>・アピールする助成金申請書の書き方          | 未定                       |             |
| 5   | 12 月<br>20 日<br>(金) | 組織評価のすすめ<br>～非営利組織が社会から支援を受けるために～                              | 日本非営利組織評価センター<br>職員      |             |
| 6   | 1 月<br>17 日<br>(金)  | 活動の課題は何ですか？<br>プロボノワーカーと取り組むお悩み解決～                             | 八王子市市民活動支援センター<br>プロボノ担当 |             |

## (2) アクティブ市民塾

市民が市民活動団体との交流を通じて「出会い」「学び」「共感」「団体入会」を生み出すために、参加型の講座として、これまでに 200 回を超える講座を開催した。今年度も市内の市民活動団体の紹介として参加型の講座としたい。

| No. | 開催日         | テーマ / 講師団体                                     | 会場         | 定員   |
|-----|-------------|--|------------|------|
| 1   | 5月22日       | (子ども)(一社)子ども食堂カフェ北野<br>・カフェ北野の取り組みと現地見学        | 現地         | 15 人 |
| 2   | 7月18日       | (国際)NPO 法人八王子国際協会<br>・国際協会の取り組みと国際理解のワークショップ   | 学園都市センター   | 20 人 |
| 3   | 8月中旬～<br>下旬 | (環境)NPO 法人すずしろ 22<br>・農作物の収穫体験と取り組み説明          | 現地         | 20 人 |
| 4   | 11月下旬       | (文化)わら細工円座<br>・しめ縄作りの体験                        | 未定         | 15 人 |
| 5   | 1月          | (健康)ゆるからの会<br>・ゆる～い空手～楽しく健康増進～                 | 未定         | 20 人 |
| 6   | 3月          | (福祉)八王子アクティビティケア研究会<br>・高齢者の介護予防になるおもちゃアクティビティ | 市民活動支援センター | 15 人 |

### (3) 支援講座

NPOや市民活動団体向けに、市民活動の支援となる講座を行なう。

| No. | 開催日   | テーマ                                      | 講師            | 会場         | 定員  |
|-----|-------|--|---------------|------------|-----|
| 1   | 4月28日 | 支援センターを徹底的に活用しよう<br>～センターのこんな使い方教えます     | センター<br>濱野    | 支援<br>センター | 15名 |
| 2   | 6月1日  | 手書きでチラシ<br>～パソコンなくても伝わるチラシ作り～            | センター<br>鈴木    | 同上         | 15名 |
| 3   | 8月    | イベントでの効果的な展示方法<br>～コンセプトから考える展示デザイン～     | センター<br>森     | 同上         | 15名 |
| 4   | 10月   | Googleドライブを活用しよう<br>～団体内の情報共有～           | センター<br>上野・望月 | 同上         | 15名 |
| 5   | 12月   | スマホ「動画」で伝える！あなたの活動<br>～今日からあなたも Youtuber | センター<br>濱野    | 同上         | 15名 |
| 6   | 2月    | その困ったを解決します<br>～ゆめおりファンドを活用しよう～          | センター<br>旗野・堤  | 同上         | 15名 |

### (4) 実践講座 定員 40～50名 小学生～大人まで誰でも

市民向けに NPO や市民活動の実践につながるような講座を行う。

7月下旬（夏休み講座）

テーマ： いまさら聞けない地球温暖化、これから間に合う私たちの取り組み

地球温暖化とはなんだろう？その原因と影響、対策などをクイズやゲームを取り入れながらやさしく解説。そのうえで私たちがこれからでも取り組めることを一緒に考え、実践に移すことを目標としたい。

## 5. ゆめおりファンド事業

### (1) 「ゆめおりファンド」PRと団体の情報公開支援

#### 1. 「ゆめおりファンド」のPR活動

・団体ニーズアンケート調査

「ゆめおりファンド」利用条件の是正と登録団体の見直し、ホームページ(HP)の更新も必要でもあることから、今年度は団体のニーズ調査を行う。

・「ゆめおりファンド・レポート」発行の再開

・支援センターHP、はちコミねっと HP、SNS 等でタイムリーな発信

#### 2. 団体の情報公開支援

・「ゆめおりファンド説明会」

「CANPAN 登録説明会」に人財支援プレゼンも加えて、はちコミねっと登録時に伝えてもらう。  
センター一日出張時に PR する。

・「CANPAN」登録・更新支援

・JCNE 第三者認証

協議会と連携して JCNE(ベーシックガバナンスチェック)の紹介をする

JCNE プレゼン説明会の開催も検討(協議会で出講依頼)する。

## (2) 物品の支援

- ・寄附企業の開拓と関係性維持
- ・物品支援団体へのわかりやすい発信(提供物品の公開など)  
物品と支援団体とのタイムリーなマッチングを図る

## (3) 人財の支援

- ・プロボノ団体募集説明会・交流会開催  
支援を受けたい団体とプロボノワーカーの募集とマッチング  
講師:グラント 代表理事 嵯峨生馬先生  
場所:近隣公共施設  
人数:30~50名
- ・プロボノワーカー協力による団体支援  
PR:多様なメディアを使ったプロボノ情報発信の検討
- ・プロボノワーカーへの感謝状贈呈/情報・意見交換会の開催

## (4) 資金支援

### 1. 調査(協議会)とファンド研究会設置の提案

#### ①調査報告:代表的な中間支援組織、行政の事例調査を年内に実施

(目的/対象団体/助成金額/申請/審査・選考/事後管理/公開/財源)

## (5) 企業・団体訪問

- ・提案事項:企業の社会貢献、人財育成の手伝いができないかの観点
- ・依頼事項:物品寄附とプロボノチームを編成できないかの観点
- ・注意事項:資金寄附より信頼関係構築が先の観点

## 6. 市民活動に係る相談に関する事業

- ・相談業務は相談者に寄り添い、受け止めることをモットーに対応する。
- ・相談内容の情報は職員内で共有し、職員のコーディネート能力のレベル向上に努めるとともに、相談者のさまざまなニーズに応える体制を整える。
- ・多様な知識、経験、コーディネート能力が求められるため、外部研修に積極的に参加し、多様な団体との交流を通し、スタッフのレベル向上に努める。
- ・令和4年度に改訂した「NPOマニュアル」を活用した相談の実施
- ・会計、財務、労務、税務等の専門的相談に対応し、司法書士、行政書士、税理士など専門家による相談にも対応する。
- ・NPO活動団体が多い東部地区や市民活動支援センターに遠い地区で出張支援センターを開設する。相談業務を中心に、団体の役に立つ講座、交流会なども企画する。(年4回、上記地域・団体連携交流事業にも記載)

## 7. 市民活動に係る調査及び研究に関する事業

- ・中間支援施設として、ニーズと期待に対応したサービス向上のため、開催する諸講座の「参加者アンケ

ート」を実施する。

- ・「利用者満足度調査」、モニタリング結果等を検証し、具体的事業の効果的推進に活かす。
- ・他の市区町村の情報や事例を収集することにより、中間支援施設としてのあり方の参考にする。
- ・必要に応じて、団体や市民へのアンケートやヒアリング等のNPOニーズ調査を行う。
- ・NPO ハンドブック(改訂版)の発行 はちコミねっとと二次元コードでリンクし、携帯可能な大きさに変更するとともに、内容的には、大学のボランティアセンター、周辺市の中間支援団体等もカバーする。

## 8. 総務関連部門

- (1)適正な文書管理
- (2)施設設備の適切な管理(付帯施設・機器・物品の管理、整備)
- (3)適切な経理処理(給与計算・コピー収入管理・物品購入)
- (4)適正なスタッフ出退勤管理
- (5)指定管理者モニタリングへの適切な対応
- (6)「地域参加支援に関する情報交換会」への参加
- (7)「8市・市民活動連絡会」への参加
- (8)大学コンソーシアム、大学、大学生との連携、交流の強化
- (9)大学インターンシップ及び市内中学校職場体験の受け入れ
- (10)支援センター視察・見学来館者の受け入れ、対応
- (11)市内のイベントへの参加・出展
- (12)スタッフの教育研修の実施と充実(外部研修、内部研修)
- (13)市内の多様な団体やセクターとのこれまで以上の連携による新たな価値の創出(共創)

## 9. モニタリングへの取り組み

「協定内容の履行を確保し、市民に対して質の高いサービスの提供を実現するため」に行われているモニタリングへの取り組みは、協定事業の遂行とともに、独自計画を付加した年度事業計画の効果的推進により、利用者評価に耐えうる施設運営、サービス提供に努める。また、評価結果はこれを真摯に受け止め、スタッフで共有し、事業運営に活かす努力をする。

## 10. 企画運営会議(八王子市民活動協議会が主催)

原則として四半期毎に1回、企画運営会議を開催し、効果的な事業推進を討議し、市民活動を取り巻くニーズに対応した中長期的、未来志向的視点で支援センターの運営について協議する。

## 11. 情報セキュリティ委員会

個人や団体の情報を預かる支援センターは、その情報の保護管理に大きな責任があるとの認識から、支援センター個人情報保護方針に基づき、情報セキュリティ委員会を定期的開催する。また、監査人による監査で適正な情報管理のチェックを受けると共に、スタッフを対象にした教育研修会を実施し、法令及び八王子市指定管理者における情報セキュリティガイドライン、支援センター情報セキュリティ管理マニュアル等の遵守を徹底する。

## 12. 八王子市環境マネジメントシステムへの対応

八王子市役所環境マネジメントシステムへの対応として、それぞれの部門や事業が環境配慮行動に取り組むとともに、支援センターの特性である団体活動サポートや様々な事業を通して環境マネジメントに取り組む。